

議会 だより

鳴門市
NARUTO CITY

発行／鳴門市議会
編集／議会広報委員会
発刊／2019年(令和元年)6月1日



<https://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

目次

平成31年第1回定例会の提出議案と議決結果	②
請願の処理	②
委員会審査	③～⑤
意見書	⑤
一般質問	⑥～⑫
平成31年度当初予算・平成30年度補正予算審査	⑬～⑮
女性議会開催のお知らせ	⑮
市民の広場、第2回定例会の日程	⑯

市立図書館リニューアルオープン!!



● 山根副議長 出席 ●
令和元年5月8日

＊ 女性議会を開催します ＊

【令和元年7月30日(火)】

鳴門市在住の女性の方が議員として質問を行います
…… 詳しくは、15ページをご覧ください ……

《 平成31年 第1回定例会の提出議案と議決結果 》

議案番号	案 件	議決結果	所管の委員会
議案第1号	平成31年度鳴門市一般会計予算	原案可決	予算決算
議案第2号	平成31年度鳴門市国民健康保険事業特別会計予算		
議案第3号	平成31年度鳴門市後期高齢者医療特別会計予算		
議案第4号	平成31年度鳴門市介護保険事業特別会計予算		
議案第5号	平成31年度鳴門市公共下水道事業特別会計予算		
議案第6号	平成31年度鳴門市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算		
議案第7号	平成31年度鳴門市光熱水費等支出特別会計予算		
議案第8号	平成31年度鳴門市給与費等管理特別会計予算		
議案第9号	平成31年度鳴門市公債費管理特別会計予算		
議案第10号	平成31年度鳴門市水道事業会計予算		
議案第11号	平成31年度鳴門市モーターボート競走事業会計予算		
議案第25号	平成30年度鳴門市一般会計補正予算（第4号）		
議案第26号	平成30年度鳴門市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		
議案第27号	平成30年度鳴門市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		
議案第28号	平成30年度鳴門市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）		
議案第29号	平成30年度鳴門市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第30号	平成30年度鳴門市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第31号	平成30年度鳴門市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第32号	平成30年度鳴門市光熱水費等支出特別会計補正予算（第1号）		
議案第33号	平成30年度鳴門市給与費等管理特別会計補正予算（第1号）		
議案第34号	平成30年度鳴門市公債費管理特別会計補正予算（第1号）		
議案第35号	平成30年度鳴門市水道事業会計補正予算（第2号）		
議案第36号	平成30年度鳴門市モーターボート競走事業会計補正予算（第3号）		
議案第12号	鳴門市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決	総務文教
議案第13号	鳴門市公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部改正について		
議案第14号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について		
議案第15号	鳴門市国民保護対策本部及び鳴門市緊急対処事態対策本部条例の一部改正について		
議案第16号	鳴門市印鑑条例及び鳴門市手数料徴収条例の一部改正について	原案可決	生活福祉
議案第17号	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について		
議案第18号	鳴門市国民健康保険条例の一部改正について		
議案第19号	鳴門市附属機関設置条例の一部改正について		
議案第23号	工事請負変更契約の締結について（鳴門市人権福祉センター耐震改修工事のうち建築工事）		
議案第20号	鳴門市特別会計設置条例の一部改正について	原案可決	産業建設
議案第21号	鳴門市水道法施行条例の一部改正について		
議案第24号	市道路線の変更について		
議案第22号	鳴門市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	非常勤特別職の報酬等特別
意 第1号	独立行政法人国立病院機構徳島病院の存続を求める意見書	原案可決	

請願の処理

請願番号	案 件	審議結果	所管の委員会
請願第2号	鳴門市新庁舎建設基本計画に関する請願書	不 採 択	総務文教

総務文教委員会

●議案第12号

鳴門市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

国家公務員が超過勤務命令を行うことができる上限などを人事院規則で定めることに伴い、国家公務員との均衡の原則により、所要の改正を行うもの。

【質疑】 年間360時間を超える超過勤務を命じられた職員は何名いるのか。

【回答】 平成29年度の実績では、超過勤務の対象となる職員総数は管理職を除き242名であり、このうち超過勤務命令の上限とされる年間360時間を超えて超過勤務を命じられた職員は85名、特別に認められる場合の上限である年間720時間を超えて超過勤務を命じられた職員は20名であった。

【質疑】 職員数が減少し、業務量が増加する中、今後どのように超過勤務の抑制に対応していくのか。

【回答】 職員一人あたりの経験や知識を増加させることで一人あたりの労働生産性を向上させ対応することが原則である。その他にも人事異動において職務内容に見合った人材を配置することで対応したいと考えている。



生活福祉委員会

●議案第16号

鳴門市印鑑条例及び鳴門市手数料徴収条例の一部改正について

平成31年7月から自動交付機を廃止することに伴い、自動交付機に関する規定を削除するなど、所要の改正を行うもの。

【質疑】 マルチコピー機を利用するためには、マイナンバーカードが必要となるが、約9割の方がマイナンバーカードを所持していない状況で、自動交付機が廃止されれば、多くの方の利便性が低下することとなるが、その対応策は。

【回答】 平日の市民課および板東連絡所での交付、毎月第1土曜日の市民課での交付、平成29年度より実施している5カ所の郵便局での交付、マイナンバーカードを利用してコンビニエンスストアに設置されているマルチコピー機を利用しての交付もしくは郵送での交付などで対応していく。



【質疑】 印鑑証明書を発行する際は、なると市民カードが必要であったが、今後はどうなるのか。

【回答】 自動交付機が廃止された後も、印鑑登録証としての機能は残るため、窓口で印鑑証明書の交付を受ける場合は、なると市民カードが必要となる。

産業建設委員会

●議案第24号

市道路線の変更について

松茂町との行政境にある長岸小橋^{ながしこばし}の修繕工事にあたり国庫補助の要件となる市道認定を行うため、市道路線の終点を変更するもの。

【質疑】 橋梁修繕工事には本市の費用負担は必要なのか。

【回答】 鳴門市民、松茂町民も利用する橋梁であるため、鳴門市も費用負担を行う。負担額については、今後、松茂町との協定書で定めることとしている。

【質疑】 長岸小橋のこれまでの管理と今後の管理は。

【回答】 橋梁台帳も松茂町で整備されてお



昭和31年に建設されて50年以上経つんだね。



り、小修繕などはこれまで松茂町が行ってきたものと思われる。市道認定をされれば橋梁の今後の維持補修は松茂町が事業主体となつて管理を行い、それに対し、本市は負担金を支払うようになると思われる。

●議案第22号

鳴門市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

期日前投票管理者および期日前投票立会人の報酬額について、従事した時間が6時間以下の場合の報酬額を追加するとともに、新たに設置する附属機関である「就学前教育・保育のあり方に関する審議会」の委員に対する報酬額を規定するもの。

【質疑】 期日前投票所の投票管理者および立会人の人数は。

【回答】 期日前投票所の投票管理者は1名、立会人は2名である。

【質疑】 うずしお会館の期日前投票所でも投票管理者および立会人は交代制になるのか。

【回答】 今回の改正は交代制を導入するものではなく、立会人がどうしても半日しかできない場合に、交代できるようにするものである。投票管理者については職務の重要度から交代は考えていない。



予算決算委員会

●議案第1号

平成31年度鳴門市一般会計予算

平成31年度は、新庁舎建設事業や交流拠点施設整備事業などの市政発展に資する事業に対しては、積極的に投資を行う。また、幼児教育無償化や子どもの居場所づくり事業など、子ども子育て施策の充実を図り、「だれもが住み続けたい、訪れたいと思える、だれもが笑顔になる鳴門づくり」に取り組むための予算編成を行った。

【質疑】 モーターボート競走事業会計からの借入金の使途は。

【回答】 新庁舎建設という大型事業を着実に進めていく一方で市民サービスには影響を与えないよう、現在好調であるボートレース競走事業会計から長期借り入れを行い、その一部である5億円を庁舎整備基金に積み立て、2億円を今後の庁舎整備にかかる地方債の償還の財源として減債基金に積み立てる予定である。



【質疑】 今後のモーターボート競走事業会計からの借り入れの方針は。

【回答】 現在のような経営状況が今後も維持される場合には、新庁舎建設事業に必要な費用および将来的に地方債の償還に必要な財源についてボートレース競走事業会計からの借入金を活用したいと考えている。

① 定例会で可決された意見書は各関係機関へ送付しました ①

独立行政法人国立病院機構徳島病院の存続を求める意見書

独立行政法人国立病院機構徳島病院は、^{しょうい}傷痍軍人療養所から昭和20年12月に国立徳島療養所として発足し、現在、入院病床300床を運営している。また、四国で唯一の筋ジストロフィー医療施設であり、神経・筋疾患の基幹施設であると同時に徳島県難病医療ネットワーク事業における拠点施設として、難病医療の支援体制を担い、先駆的な研究や実践を行っている。

また、南海トラフ巨大地震や活断層直下型地震などの大規模災害に対応する医療機能を強化するため、国の制度である「災害拠点病院」を支援・補完する役割を担う「災害医療支援病院」として平成25年に徳島県から指定され、平時はもとより災害時においても、その役割が大いに期待されているところである。

本市にとっても、こうした機能を担う中核的な医療機関が徳島県内にあることは、住民が生活する上での安心・安全につながるとともに、重要な雇用の場にもつながっている。

こうした中、去る平成30年2月21日に発表された、「東徳島医療センター及び徳島病院の統合に伴う新病院に関する基本構想」では、徳島病院の機能を東徳島医療センターの地に移転・統合することとされ、これに対し、現在、住民、患者、医療関係者など様々なところから徳島病院の存続を望む声が挙がっている。

については、今後とも地域医療及び雇用の場の確保に努めるため、平成25年に病棟の新築移転と総合リハビリテーションセンター開設により充実・強化を図られた病院機能を維持し、現在の徳島病院を存続するよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成31年3月20日

鳴門市議会

代表質問

市民の皆さんの生活に直結するようなことや直結はしないけれど、将来のために今やっておかなければならないことなどを問題提起し、市に質問するものです。

[illegible]

的な取り組みについて伺いたい。

答市単独事業として取り組む事業については、新たな子育て支援策による子育て環境の充実やスポーツ振興による健康づくりを進め、交流人口の増加などによる地域経済の活性化を図りたいと考えています。また、インバウンド合宿誘致事業については、大規模な国際大会が続く機会をとらえ、中国・韓国など野球の盛んな東アジア圏

問平成31年度の当初予算における新規事業のうち、市単独事業の狙いと市単独事業の中でのインバウンド合宿誘致事業についての具体的な取り組みについて伺いたい。

問再編計画は、公立保育所を1カ所に統合する方向性であるが、公立保育所は公的責任において、鳴門市全体の乳幼児の育ちを保障する受け皿になる役割がある。特に、障がい児保育や人権保育、また、休日保育や病後児保育などの役割を果たさなければならぬ。公立保育所の意義・役割、統合に至った経緯と新施設の機能について伺いたい。

答 公立保育所の意義と役割は、私立保育所との連携を図りながら、市全体の就学前教育、障がい児保育、人権保育などの推進の中心的役割を果たすものと考えています。統合に至った経緯は、保育士不足や施設の老朽化など公立保育所が抱えるさまざまな課題を解決するため、1カ所に集約することとしています。新施設は、研修機能や子育て支援センター機能、支援が必要な児童を受け入れる保育環境、休日保育を実施できる環境、家庭支援推進保育士の配置と機能維持などの機能を持った施設にしたいと考えています。



会派
東 正昇
あずま まさのり
潮

新年度当初予算の狙いは

公立保育所の意義や
統合に至った経緯は



会派 創心クラブ
みつ よしひろ
三津 良裕

人口減少に歯止めを

問 鳴門市の人口は、今年2月1日現在で、5万7701人。今後数十年で、4万人、3万人に減少する可能性もある。毎年12月31日の住民登録人口で、0歳児は平成25年397人、27年373人、29年308人。少子化対策のさまざまな事業や施策の効果がなく、少子化が進んでいる。人口減少の分析をどのように行い、目標設定に向けてどのような施策を講じるのか。

答 「鳴門市人口ビジョン」の実現に向け、平成27年度に「なると未来づくり総合戦略」を策定し、全体で99事業を設定しており、人口減少や少子高齢化の抑制に取り組んでいます。これまで、定住人口の確保に向け、一定の成果を挙げたものと認識しています。人口減少を巡る状況は、より厳しさを増していると認識しており、詳細な分析を行いつつ、戦略的で効果的な人口減少対策の再構築を進めます。

新庁舎の建設場所の選定理由と現庁舎の扱いは

問 新庁舎は市民サービスや災害発生時の拠点施設であるにも関わらず、なぜ、4つの候補地のうち、地震の影響などで液状化危険度のかなり低い旧衛生センター敷地を選定しなかったのか。また、現庁舎は有識者会議と市民アンケートの意見により、取り壊すとの結論なのか。

答 市の自己用地4カ所について防災面を重視し、防災拠点・安全性の項目を1.5倍の傾斜配点で評価しました。また、市民アンケートの結果も踏まえ総合的に判断し、現庁舎敷地に建設することとした。現庁舎は、新庁舎建設検討委員会の議論や市民アンケートの結果などを踏まえ、取り壊しもやむなしとなりました。



平成31年1月に策定された
新庁舎建設基本計画



会派 青藍
みやざき あきら
宮崎 明

公共施設の個別施設計画策定に向けての進め方は

問 本市は公共施設の総量縮小などを図る個別施設計画を平成32年度までに策定する運びになっているが、各施設は地域社会の核を成すものであることから、市民にその現状と将来像を説明し進めて行くことが肝要であり、本市自治基本条例の理念でもある。計画策定に向けての今後のプロセスや対応策は。

答 個別施設計画の進捗管理や全体調整などを行う庁内組織体を設置し、平成32年度までの計画策定を目指します。また、市民との情報共有や合意形成は施設に応じた形で対応します。

環境保全の取り組みは

問 近年、山林を乱開発しての太陽光発電設備の設置が環境保全上、全国的に問題になっている。本市においても、環境基本計画で樹林地の保全再生エリアに位置付けら

れている山林の山腹を削って太陽光発電設備が設置されている。本市総面積の約6割を占める山林の保全は重要施策の一つであるが、事業者に対する指導と設備の設置状況は。

答 設備の設置については、市に対する申請などが不必要であるため、定かではありませんが、事業者に対する指導は行っていないが、環境保全と両立した再生可能エネルギー導入の重要性は認識しています。



樹林地の保全再生エリアに設置されている
太陽光発電設備

要望 平成28年に再生可能エネルギー特措法が改正され規制強化が図られており、また、地方公共団体が規制条例を策定する上で参考となる「事業計画策定ガイドライン」が示されている。このように法規制をする上での環境整備が整っている中で、本市においても環境都市宣言に相応しい条例などの制定を要望する。



会派 公明党
まつうら とみこ
松浦 富子

災害時に備えた LPガス発電機の設置を

問 災害時に備え、避難所となる市内小・中学校、公民館などに非常用電源の確保策としてLPガス発電機の設置を促進するべきと考えるが、本市の現状と今後の設置についての考えは。

答 現在、発電機は基本的にガソリン方式のものとなっています。今後、新規購入や既存の発電機を更新する際には、それぞれの特徴や維持管理を含めたランニングコストなどを考慮し、適切に配備したいと考えています。



さまざまな避難所に設置されているLPガス

5歳児健診の実施を

問 発達障がい^①の早期発見、早期療育のため、5歳児健診を実施すべきと思うが、本市の考えは。

答 本市では、発達障がい^①やその疑いのある子供の支援を目的として、平成22年度から4～5歳児を対象に、鳴門教育大学と連携し、子どもの発達支援事業を実施しています。

大人のひきこもりに 対する支援は

問 大人のひきこもりについては、80代の親が50代の子供の面倒を見る8050問題^②という言葉が生まれるほど深刻な問題であるが、本市の現状と支援体制は。

答 大人のひきこもりは非常にデリケートな側面があり、市単独で実施把握に向けた調査は難しいため、国や県、民間の調査結果を踏まえると同時に、鳴門市生活自立相談支援センター「よりそい」での相談業務や民生委員の日々の活動など、地域からの声を通じて実態把握に努めてまいりたいと考えています。支援体制については、県に設置されているひきこもり地域支援センター「きのほり」との連携や支援を受けながら、本人や家族に寄り添った支援を行ってまいりたいと考えています。



会派 平成なると
さとう きぬこ
佐藤 絹子

ボートレース鳴門まちづくり 基金の有効的な活用を

問 ボートレース鳴門まちづくり基金の残高と活用方法について。

答 モーターボート競走事業の収益金を原資として積み立てており、初年度である平成27年度末の残高は250万円、以降28年度末は1億1千万円、29年度末は1億9122万円と推移し、30年度末は1億8914万円を見込んでいます。活用状況については、市民の皆様の自発的なまちづくり活動を応援するための公募提案型補助金制度である、WELCOME^③になるとまちづくり活動応援補助金を平成28年度以降、ボートレース鳴門プレゼンツと称し、毎年基金を活用した事業推進を図っています。29年度には軽トラックや音響機器といった、市民活動支援用貸出備品や救急救命訓練用資機材の整備に、30年度は図書館耐震化施設改修事業をはじめ、消防団詰所改修事業や総合運動場のトイレ整

備などに充当することとしています。31年度は、道路照明LED化更新事業や学校トイレ環境改善事業などにも充当する予定です。市民の皆様が利用する施設などの整備に活用していきます。

安心安全な市道の整備を

問 市道の整備が遅れている。生活者も高齢化し安全に安心して通行できる道が少ない。この基金を使って道路整備を推し進めていくことへの市長の考えを伺う。

答 市道整備の促進を図る観点から基金を利用し、一定の期間を定めて維持補修費に増額投資することも検討したいと考えています。

要望 早く実現していただきたい。生活道路の安全性は市民にとって重要であると考えている。



修繕が追いつかない市道

個人質問

① 上田 公司

1. 子育て支援について

- (1) 医療的ケア児について
- (2) 放課後児童クラブについて
- (3) 特別支援について

2. 子供の貧困対策について

- (1) 就学援助について

② 長濱 賢一

1. 新庁舎建設について

- (1) 新庁舎建設基本計画について
- (2) 新庁舎建設の今後の進め方について
- (3) 新庁舎建設と中心市街地の活性化について

2. 水道事業について

- (1) 水道ビジョンについて
- (2) 鳴門市・北島町浄水場共同化について

3. 国際交流について

- (1) バングラデシュとの交流について
- (2) 国際交流の今後の発展について

③ 浜 盛幸

1. 防災・減災対策について

- (1) デジタル防災行政無線について
- (2) 防災ラジオの導入について

2. 水産業の振興について

- (1) 養殖わかめの消費量について
- (2) 徳島県鳴門わかめの認証制度について
- (3) 養殖わかめの収穫量減少対策について

④ 平塚 保二

1. 観光行政について

- (1) 鳴門駅の周辺整備について

2. 福祉行政について

- (1) 高齢者の低栄養防止コンソーシアム事業について



議会を傍聴して、議員の生の声を聞いてみよう!

⑤ 潮崎 憲司

1. クリーンセンターについて

- (1) 焼却施設の維持管理費について
- (2) 搬入路について
- (3) 地元対策について

2. 教育行政について

- (1) 公立高等学校の学区制について

⑥ 高麗 裕之

1. 環境行政について

- (1) ごみの減量対策について
- (2) 指定ごみ袋の価格について

2. 観光行政について

- (1) 観光PRについて

⑦ 東谷 伸治

1. 人権行政について

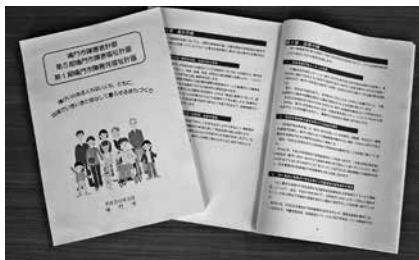
- (1) マイノリティの権利について

2. 市民の健康を守る施策について

- (1) たばこの健康被害について
- (2) 地産地消の取り組みについて

3. 高齢者施策について

- (1) 高齢者のみの世界への支援について



医療的ケア児の支援を掲げる
鳴門市障害児福祉計画

問 現実には、医療的ケア児が安心して通え、保護者も安心して共働きができる環境などほとんど整備されていないにも関わらず、本市は「安心して子供を生み育てることができ、子どものまち鳴門」や「大切なお子様を預けることができる施設が充実していますので、共働きでも安心です」と全国に発信しており、医療的ケア児や保護者は大変ショックを受けている。今後、PR表現の改善はもちろん、公立保育所再編の中で、受入れ体制の整備を早急に図ることを強く提言するが。

医療的ケア児の受け入れ体制の早急な整備を



うえだ こうじ
上田 公司

就学援助の見直しを

答 医療的ケア児の受け入れについては、医療・保健・保育・教育などと連携を図りながら、今後、子ども支援部会などにおいて検討を進めたいと考えています。

問 生活困窮者を対象とした就学援助（準要保護の認定倍率は、全国では1.3倍以上が多数を占め、1.5倍の自治体もある。本市は1.2倍止まり。1.3倍にした場合、新たな負担は90万円程度、全国的に遅れることなく1.3倍に引き上げるべきである。

準要保護世帯の就学援助費のうち、クラブ活動費、生徒会費、PTA費について、本市は国から交付金を受け取りながら支給対象とせず、受け取れるはずの保護者や児童生徒に長きにわたって負担させるなど、市民のためにあるべき行政として考えられない対応を続けている。当然に今すぐに改善するべき。

答 他の自治体での支給状況や運用方法などの情報収集と研究に努め、就学援助制度の在り方を総合的に検討していきたいと考えています。



ながはま けんいち
長濱 賢一
(青藍)

どうなっている

新庁舎建設

問基本計画案のパブリックコメントで現庁舎についての意見を反映する見込みがないとしているがなぜか。基本計画の市民への説明は直接、丁寧にやるべきだが、どのように考えているのか。基本設計業者をプロポーザル方式で選定するには、市側に建築などの専門家が Needed が、どのように考えているのか。スケジュールは、国の事業要件が緩和された現在、どうするのか。

答パブリックコメントは、検討委員会で議論しました。個別意見は市ウェブサイトに掲載してあります。本計画の周知は、さまざまな機会や媒体を通じて、市民に周知



鳴門市役所本庁舎

します。基本設計業者の参入条件は検討中です。選定は、市職員を中心とした選定委員会での選定を基本とします。スケジュールは、国の要件が緩和されたが、現計画に沿って進めます。

要望庁舎（増田建築）については、時間があるため有効利用について検討・検証すること、そして、本計画と中心市街地活性化については、都市再生特別措置法の公共施設立地適正化計画を策定し、法的正当性を確保した上で、さまざまな支援を受けられよう強く要望する。

共同浄水場の費用負担

なぜ鳴門が75%

問広域化や民営化（私は反対）につての考えを伺う。また、北島町と共同で計画している浄水場建設費用（11.5億円）の負担割合は、0.1%違つと1150万円変わるが、なぜ、鳴門が約75%、北島が約25%なのか。

答広域化は、県が県内を3ブロックに分けて検討会を開催します。コンセッション方式での民営化は、予定していません。建設費用の負担割合は工事完了後に精査します。



はま せいこう
浜 盛幸
(公明党)

災害時の確実な

情報伝達手段の確保を

問災害時の情報伝達のため、高齢者・障がい者用に防災ラジオの導入が必要では。

答現在、災害情報は、防災行政無線をはじめ、さまざまな手段を利用し、複合的に発信しています。防災ラジオについては、ラジオでは、ラジオオ局のFM電波は一部届かない地域があるなど課題があるため、課題がクリアできた時点で導入を検討したいと考えています。



H25年度より徳島市で導入している防災ラジオ

要望現在の防災行政無線より400倍遠くへ電波が届き、波長の特徴が建物内部に届きやすいポケベルの280メガヘルツ電波を使用した防災ラジオが有効であるため、導入するべきである。

鳴門わかめ

認証制度の推進を

問鳴門わかめの産地偽装のための認証制度の取り組み状況は。

答市内外のイベントなどを利用し、認証制度のパネルや認証わかめの配布、消費者アンケートの実施など、周知に努めています。現在、県内で23業者、そのうち、市内11業者が認定制度の認定を受けており、徐々に増えている状況です。

わかめの収穫量UPの

取り組みは

問わかめの収穫は20年前と比べ半減しているが、その対策は。

答原因としては、漁業者の減少と環境の変化が挙げられます。漁業者減少の対策としては、販売方法の見直しや加工の協業化の検討、漁協主体の種苗生産施設の設置、県による漁業アカデミーの開校などがあります。環境変化への対策としては、県主体で高水温耐性品種の開発、リアルタイムでの水温情報の提供で種付けや沖だし時期の決定などの資源管理に役立てる取り組みを行っています。



ひらつか やすじ
平塚 保二

鳴門駅前にトイレの整備を

問 鳴門で大きなイベントが実施された際は、鳴門駅前のトイレが混雑している。一刻も早い対応が必要ではないか。鳴門駅前のトイレの整備について伺う。

答 J R 鳴門駅前トイレについては、平成31年度にJ R 鳴門駅舎の耐震

化工事を実施し、駅舎南側部分が減築されることが示されたことから、これを機に減築に伴う空きスペースに課題のあったトイレを、四国旅客鉄道株式会社と連携して新設したいと考えています。新設トイレの規模については、敷地の制約はあるが、多目的トイレの新設や女性用トイレの基数を増やしたいと考えており、設計の中で具体的な計画



トイレの改善が求められる鳴門駅前

を策定し、市民や観光客が利用しやすいトイレを新設したいと考えています。また、トイレの建設時期については、工事の着工が駅舎の耐震化工事後となるため、本年秋以降と見込まれることから、平成32年度中の完成を目的に事業を進めていきたいと考えています。

高齢者の低栄養防止策は

問 高齢者の低栄養化を防止するための本市の対応を伺う。

答 高齢者の低栄養防止については、厚生労働省の平成29年国民健康栄養調査によると、65歳以上の高齢者約6人に1人が口腔機能の低下や食事内容の偏りなどが原因で低栄養状態になっています。低栄養状態になると機能低下が加速し、要介護状態や疾病のリスクを高めることになると言われています。低栄養を防止するための啓発活動については、食生活改善推進員の養成や県栄養士会と連携した戸別訪問による栄養指導の実施、口腔機能の改善事業として、歯科衛生士の戸別訪問を実施するなど、低栄養の予防につなげる取り組みを進めています。



しおざき けんじ
潮崎 憲司
(有志会)

稼働から11年のクリーンセンターの現状と搬入路建設は

問 焼却場管理費として毎年約4億円が予算が計上されているが、その内訳は。また、災害時のためにも早急な建設が必要と思われる搬入路建設についての進捗状況は。

答 ごみ焼却施設の焼却場管理費については、ごみ焼却場を稼働していく上で必要となる経費で、主に運転維持管理費などを委託する費用や光熱水などの用益費、施設を適正に維持するための経費などです。

搬入路建

設については、事業費は平成13年度に行った検証では約12億円と試算しています。災害などの対応を



災害時に備えた搬入路の整備を

行う上でも必要であると認識しており、今後も引き続き検討してまいりたいと考えています。

公立高校普通科の学区制廃止に関する市の考えや取り組みは

問 平成28年度以降、鳴門市教育委員会から徳島県教育委員会への要望活動が行われている。また、平成30年3月に鳴門市議会でも進路の選択肢の拡大や地域間での公平性確保のため、学区制の廃止を要望しているが、本市の考えは。

答 本市の学区制についての考え方については、従来より高等学校受験の機会の公平・公正感をしっかりと生徒に示すことができる制度の検討を県に対して求めてまいりました。現行制度のもとでは、学区の壁により、地区により異なる条件での受験を強いられている状況であり、学区間の流入率の変更や全県1区の高校のわずかな設定では、課題を解決することにはならず、学区制の廃止が必要であると考えています。今後も有識者会議の検討などを注視していきたいと考えています。



こうらい ひろゆき
高麗 裕之
(有志会)

指定ごみ袋の価格の見直しが必要では

問 指定ごみ袋の価格が県下で一番高い。ごみの減量が期待できる一方、近年、経済負担が増す中、市民の経済負担が大きすぎると思う。価格を見直し、値下げを検討してはどうか。また、消費税が10%に引き上げられた場合、ごみ袋の価格がさらに値上げされるのか。

答 指定ごみ袋の価格については、経済的負担と減量効果のバランスを考えれば、現在の価格が適当であると考えています。今後においても、必要に応じて価格の見直しを検討してまいります。消費税増税に伴う

指定ごみ袋の価格については、市民負担の軽減を図るため据え置く方向



鳴門市の指定ごみ袋 10枚入り価格
大350円 中250円 小150円

で検討しています。
要望 市民のニーズを踏まえ価格の見直しを検討するよう要望する。

米津玄師効果 どう活かすのか

問 米津玄師さんが大塚国際美術館からの中継でテレビに生出演され、SNSで話題を呼び、ファンが聖地として訪れ、来館者が急増し鳴門市の知名度が上がっている。観光誘客には千載一遇のチャンスであることから、今後どのように取り組んでいくのか。

答 昨年末にはNHK紅白歌合戦において、国内外で人気の高い歌手の米津玄師さんがテレビに生出演されたことにより、来館者数も大幅に増加しています。大塚国際美術館と連携を図りながら、国内外からの観光誘客に努めたいと考えています。今後は、観光を通じた交流人口の増加や地域経済の活性化を図ってまいりたいと考えています。

意見 多様な観光ニーズに余すことなく応え、きめ細かな施策で取り組んでほしい。



ひがしだに しんじ
東谷 伸治
(潮)

禁煙に向けての支援策を

問 特定保健指導での禁煙の経済効果は、喫煙者以外からの保険料や公費を投入しても、長期的に効果がある。禁煙外来での治療を進めていくことは、健康面でも経済面でもプラスになるため進める必要があるが、本市の状況は。

答 本市の喫煙率は、男性20・5%、女性4・3%であるが、2022年度までに、男性15%、女性2%に減少させることを目標として、啓発活動に取り組みしています。また、市内13医療機関で禁煙外来を実施しています。



喫煙率の抑制を

地産地消の取り組みは

問 学校給食における地産地消の現況は。

答 J A徳島北から市内産のお米「キヌヒカリ」を、J A 大津松茂から大根を直接調達することで、安価で良質な食材を使用した学校給食の提供を行っています。地場産物活用率は徳島県の目標値を超える40・5%となっています。

性的マイノリティの方たちへの支援を

問 LGBTの方が人口の3〜5%とした場合、本市内で2000人近くの方が性的マイノリティに当てはまる。学校だとクラスに1人がLGBTだという計算になる。少なからずLGBTの市民はいるはずなので、そういった市民の人権を守ることは急務だと考えられる。本市におけるLGBTの方への支援体制は。

答 鳴門市男女共同参画推進条例を制定するとともに、鳴門市女性こども支援センター「ぱあと」において、相談窓口を開設しています。今後も、教育現場や関係機関との連携を図りながら、取り組みを進めていきます。

■市の予算の使い道について審査しました■

8日間にわたり、予算決算委員会および各分科会を開催し、平成31年度当初予算・平成30年度補正予算に関する23議案について審査しました。

〔委員会での審査の中で出た意見・要望やそれに対する答え、説明を抜粋したものです。(■質疑 ●説明・答え ★意見・要望)〕
※予算決算委員長報告の全文は、鳴門市議会ウェブサイト、「議会審議結果報告」の「委員長報告」をご覧ください。

教育

【教 育】

■学校安全施設整備事業の現状は。

●これまでの取り組みについては、防犯カメラおよびセンサーライトを平成26年度から6ヶ年の計画で幼稚園、小学校、中学校の順に年次計画的に整備を進めてきており、平成31年度は第二中学校、鳴門中学校、瀬戸中学校の中学校3校に設置する予定で、これをもって学校施設への防犯カメラおよびセンサーライトの設置については完了することとなっている。



* * *

■通学路グリーンライン引き工事の内容は。

●平成30年度に第一中学校区を対象に合同点検が実施さ

れており、点検の結果、グリーンラインによる安全対策が必要な区間として、大津西小学校区で1ヶ所、撫養小学校区で2ヶ所、黒崎小学校区で2ヶ所、桑島小学校区で1ヶ所の合計6ヶ所が示されたことから、通学路に注意を促す効果があるグリーンラインを施行する予定としている。

* * *

■要保護および準要保護生徒にかかる就学援助費の内容は。

●平成31年度に入学される小中学生を対象に、要保護および準要保護生徒に対する就学援助のため新入学学用品費を支給するもので、従来、所得の確認の関係で支給が6月頃となっていたが、入学前の準備に間に合わないため、今回から原則は新年度に入る前に支給することとしている。また、援助額は、小学校入学にあたっては1人あたり4万600円、中学校入学にあたっては1人あたり4万7,400円である。

福祉健康

【健 康】

■人間ドック、脳ドックについて、毎年応募数が定員より多くなっているが、前年度受診できなかった方を優先する配慮はしているのか。

●本市で行っているがん検診受診者や前年度の未受診者を優先した上で抽選により対応している。

【福 祉】

■DVや児童虐待に対応するための市の支援体制は。

●非常勤の嘱託職員として、女性相談員1名、家庭児童相談員2名、子ども支援員1名。また、正規職員として、女性相談担当1名と子ども支援担当1名を配置している。

■DV被害などに対応するための広域化の現状は。

●現時点では、県内の市町村で配偶者暴力相談支援センターを設置しているのは、本市と阿南市のみであるが、徳島県においては、各市町村に配偶者暴力相談支援センターを設置するように要請している。また、藍住町、阿南市とはパートナーシップ支援協定を結んでいる。

* * *

■病児・病後児保育事業の内容は。

●児童が保育中に体調不良となった場合に、看護師資格を持った方に看護していただくことにより、円滑な保護者の就労を支援するものである。

■登園前に発熱している場合は、各保育所における病児・病後児保育事業のサービスを受けることはできないのか。

●保護者に病院へ連れて行っていただくか、子ども健康支援一時預かり事業を利用していただくこととなる。

■子ども健康支援一時預かり事業の内容は。

●利用施設は、小川病院内の「木のおうち」で実施しており、利用日時は、日曜、祝日、年末年始を除く、月曜日から土曜日の午前8時30分から午後6時まで。対象児童は、小学校6年生までの病児・病後児である。また、利用定員は1日3名、料金は2,000円であり、申し込みについては、申請書により事前登録を行なった後、予約により施設の利用が可能になる。



暮らしを守る

【消防・防災】

■消防団員の報酬に関し、これまで分団に対し支払ってきたことについて指摘を受け、今後、本市ではどのように対応するのか。

- 平成31年度から個人に支払うこととする。
- 今後の分団の運営に支障はないのか。
- 分団の運営費については、各分団を対象に実施した活動経費実態調査の結果を踏まえ、これまで市が分団に支出していた消防団運営交付金の中から分団にご負担いただいていた光熱水費などの施設の維持管理費について



は、平成31年度から市が直接支払うことするとともに、消防団運営交付金の総額を525万円から767万円に増額する予定である。

* * *

■次世代防災リーダー育成促進事業について、防災士資格取得に関する補助の対象を中高生としているが、今後、対象の拡大を行う予定はあるのか。

●今回、新規で取り組む事業であることから、状況を見ながら検討していきたい。

■この事業を活用し、防災士の資格を取得した方を地域防災力の向上にどのようにつなげていくのか。

●できる限り地元の防災訓練などへの参加をお願いし、地元の防災力の向上を図りたいと考えている。



* * *

■耐震化が必要な消防分団詰所の施設数は。

●現在46ヶ所の消防分団詰所のうち、耐震性が確保されているものが36施設、耐震性が確保されていないものが3施設であり、その他7施設については、消防分団の再編などに関連し、建設中または対応を検討中である。

市民生活

【くらし】

■集会所整備費のうち修繕料の内訳は。

●例年400万円程度を計上しており、平成31年度は集会所のブロック塀の改修を予定している

ため、200万円程度を上乗せしている。

* * *

■地域婚活支援事業補助金の実績は。

●平成27年度は4件、平成28年度は3件、平成29年度は2件、平成30年度は3件の婚活イベントが市内で実施



され、1回あたりの参加人数は20名から30名程度で行われていることが多く、概ね1組から3組のカップルが成立している。

* * *

■地域づくり事業活性化補助金の新規事業の内容は。

●平成30年度においては、板東俘虜収容所のドイツ兵俘虜が北灘町を訪れたことに基づいた資料の作成や、不法投棄の多い場所への監視カメラの設置、こども食堂の開催などがある。

■この事業の目標の1つとして自治会、町内会への加入促進があると思うが、それに対する取り組みとしてどのようなことを実施しているのか。

* * *

■渡船運行管理費に関して渡船運航の現状は。

●黒崎、岡崎、島田の3路線全体で、毎年2～3千人の利用者が減少している。

★渡船は市外の他の地域では少なくなってきており、特色のあるものだと思うので、地元の利用者数の減少を考慮して、観光にも活用できるように検討してほしい。

●運行する限りは有効活用するような方策は行うべきであるため、十分検討したい。

* * *

■鳴門市資源ごみ回収事業報奨金の制度内容は。

●集めた資源ごみについては、鳴門市に登録している7業者が引き取りを行っており、資源ごみ回収団体に対しては、古紙類、金属類、古布類について、1キログラムあたり5円の資源ごみ回収事業報奨金を交付している。



観光 産業

【観 光】

★交流拠点施設整備事業に関して、周辺の土地が確保できることも視野に入れ、拡張しやすい設計を心がけてほしい。

●駐車場が不足するような事態が発生した場合、渋滞の発生原因となり、交通に支障を来す恐れがあるため、適正なレイアウトと将来的な拡張性を念頭に置き、事業を進めていきたいと考えている。

* * *

■ASAトライアングルを結ぶサイクリングツーリズム推進事業について、ハード面についてはどのような取り組みを行うのか。

●サイクリストの利便性を高める施設として、サイクルステーションを整備するとともに、民間の店舗などに協力し

てもらい、市内に20ヶ所程度のサイクルスポットを整備しているほか、サイクリングコースとなっている国道や県道については、独自に整備や修繕を行うことが難しいため、国や県に要望を続けている。



■誘客だけではなく、市民の健康増進などにも結びつけて行くべきではないのか。

●先進地の事例では、誘客だけではなく地域の盛り上げを同時並行で実施している自治体も多いことから、このような視点の事業についても検討していきたい。

■レンタサイクルの実績は。

●今年度の秋から開始した事業で、現在の実績は10件程度であるが、3月に入って件数が伸びてきているため、これから周知を図り、利用者を増やしていきたい。

★効果が見込めない場合は、見直す時期を考えてほしい。また、自転車シェアリングも検討してほしい。

【産 業】

■複合産業団地およびなるとソフトノミックスパークの賃貸借契約の状況は。

●現在2ヶ所ともすべて契約済みとなっている。契約期間満了後も1度だけ契約更新できるとしているため、できるだけ更新してもらえよう協議などをすすめていきたい。



* * * 女性議会議員募集のお知らせ * * *

鳴門市在住の女性で女性議会に参加していただける方を募集しています

※当日は、ケーブルテレビおよびインターネットの収録がありますので、映り込みに関してご了承ください

【概 要】(1) 日 時 令和元年7月30日(火) 午後1時30分～午後4時

(2) 場 所 市役所本庁舎3階議場

(3) 人 数 10名 { 女性議員として出席し質問などをする・・・4名
女性議員として出席(質問しない)・・・6名
※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

(4) 応 募 応募用紙を郵送、ファックス、メールまたは持参にて議会事務局までご提出ください。
応募用紙は、市公式ウェブサイトに掲載しているほか、市役所1階受付および板東連絡所にて配付しています。

(5) 締 切 令和元年6月14日(金) (必着)



【質問等】※ご質問・ご意見・ご提案に対して、市長をはじめとする市職員が答弁いたします。

※女性議会開催までに2回程度ミーティングを開き、質問などのしかたについてご説明いたします。

【時 間】※質問時間は5分以内とし、市長などからの答弁も含めて一人10分以内といたします。

【ミーティング】■6月22日(出) 午前10時～正午・・・委嘱状交付式など

■7月13日(出) 午前10時～正午・・・リハーサルなど

【傍 聴】※本会議と同様の手順(P16参照)で、女性議会を傍聴できます。ぜひ、お越しください。

市民の広場



鳴門市議会では、市民の皆さんが議会をより身近に感じられるような議会だよりをめざして、日々取り組んでおります。

本紙をお読みになり感じたことや疑問点などがありましたら、議会事務局まで手紙・ファクス・Eメールなどでお寄せください。

① 議会だより紙面について（感想、ご要望など）

② 議会のしくみや専門用語についての疑問など

※内容についてお問い合わせさせていただくことがありますので、住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記してください。

… 市民の皆さんのご意見をお待ちしています …

✧ 宛先 ✧ 鳴門市議会事務局

〒772-8501 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170番地

TEL(088)684-1234 FAX(088)684-0814

E-mail gikai@city.naruto.i-tokushima.jp



《傍聴にお越しください》

第2回定例会は下記の日程で開催します。

本会議、各常任委員会の傍聴ができます。ぜひお越しください。

・本会議…議場

（受付：東側階段より3階議場入口）

・委員会…委員会室

（受付：中央階段またはエレベーターで3階議会事務局）

当日、受付にて氏名、住所、年齢をご記入ください。傍聴券をお渡しし、係員がご案内いたします。

令和元年第2回定例会の日程（5月30日～6月18日）

日	月	火	水	木	金	土
5月26日	27	28	29	30 開会／本会議 予算決算委員会	31 一般質問 通告締切	6月1日
2	3	4	5	6 一般質問(代表)	7 一般質問(個人)	8
9	10 一般質問(個人) 予算決算委員会	11 総務文教委員会	12 生活福祉委員会	13 産業建設委員会	14	15
16	17 議会運営委員会 全員協議会 議会運営委員会	18 本会議／閉会	19	20	21	22

■はケーブルテレビ中継とインターネット中継、■はインターネット中継を行います

議会を動画で見よう！

本会議と委員会はネット中継と録画配信を行っています。また、本会議はテレビ鳴門でも生放送に加え、録画放送を行っています。ぜひご覧ください。

《議会広報委員会》

委員長：宅川 靖次

副委員長：秋岡 芳郎

委員：林 勝義・松浦 富子・佐藤 絹子

宮崎 明・三津 良裕・高麗 裕之

圃山 俊作

■会議録を見よう■

次の2つの方法で一般質問などの内容を詳しく確認することができます

【窓口で見える】

①市役所本庁舎3階の議会事務局へお越しください

②見たい会議録をお伝えください

【ウェブサイトから見る】

①「鳴門市議会」を検索

②鳴門市議会公式ウェブサイト内の「会議録検索システム」から見たい会議録を検索

URL <http://ssp.kaigiroku.net/tenant/naruto/pg/index.html>

会議録
検索
システム

